

諸種色素ニ依ル血液細胞ノ生體染色並ニ超生體染色ニ就テ(第六報、鹽基性きさんとん屬色素)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/31117

諸種色素ニ依ル血液細胞ノ生體染色並ニ

超生體染色ニ就テ (第六報、鹽基性きざんとん屬色素)

(八月十四日受附)

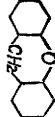
金澤醫科大學病理學教室(杉山教授指導)

野 手 雅 信

目 次

第一章 緒 言	第二節 あくりちん赤 (Acridinrot)
第二章 研究材料及ビ檢索方法	第三節 ろだみん (Rhodamin)
第三章 實驗成績	第四節 ろだみんS (Rhodamin S)
第一節 いりざみんG (Irisamin G)	第四章 本編ノ總括
	第二附圖及同説明

第一章 緒 言

今前回ヨリノ續行試験トシテ、きざんとん  ヲ骨子トセルきざんとん屬色素中ノ鹽基性色素タルいりざみんG、あくりちん赤、ろだみん、及ビろだみんSニ依ル家兎血液細胞ノ超生體染色所見ヲ報告セントス。

第二章 研究材料及ビ檢索方法

研究材料及ビ檢索方法ハ前各報ト同一ナルヲ以テ省略ス。使用セル色素ハ Dr. Karl Holborn 製色素名いりざみんG(一)、あくりちん赤(二)、ろだみんS(三)、及ビろだみんS(四)ニシテ、(一)ハ純あるこほーるノ五百倍溶液トシテ、(二)、(三)、(四)ハ純あるこほーるニ溶解シ難キヲ

原著 野手ニ諸種色素ニ依ル血液細胞ノ生體染色並ニ超生體染色ニ就テ(第六報)

死戰期ニ淡紫色ヲ呈スレドモ其色調前者ヨリ淡ク五乃至一〇時間ノ後脱色スルコト多シ。細胞運動ハ本種溶液ニ於テハ比較的微弱ナルヲ認ム。

三、えおじん嗜好性白血球

操作數分乃至十數分ノ後顆粒ハ淡赤紫色ヲ呈シ(附圖四二)、次デ漸次赤色々調ヲ増シ帶紫緋紅色トナル(附圖四三)。核ハ其死戰期ニ淡紫色(附圖四二)或ハ淡紫紅色(附圖四三)ヲ呈スルヲ見ル。該染色顆粒並ニ核ハ共ニ長時間(一〇乃至一五時間)脱色セザルモ、就中顆粒ハ核ヨリモ一層脱色遅シ。細胞運動ハ本種溶液ニ於テハ比較的緩徐ナリ。

四、淋巴細胞

操作數分ノ後原形質ハ一般ニ淡紫色ヲ呈シ、更ニ數分ヲ經テ顆粒ハ初メ帶赤紫色ニ染色シ(附圖四四)、次デ赤色々調増加シテ帶堇赤色ヲ呈ス。核ハ初メ淡堇色ニ染色シ次デ淡堇赤色ニ移行ス(附圖四四)。共ニ細胞ノ崩壞期マデ脱色セザルコト多シ。細胞運動ハ二千五百倍ニ於テ微弱ナルヲ認ム。

五、大單核球

操作後間モナク原形質全體彌蔓性ニ淡紫緋紅色ヲ呈スルモ特ニ顆粒染色ハ認め難シ。核ハ淡紫色或ハ淡堇色ヲ呈スルヲ見ル。細胞運動ハ本種溶液ニ於テハ認め難キモ、二千五百倍溶液ニ於テ微弱ナルヲ認ム。

六、血小板

操作數分後細胞全體淡堇赤色ヲ呈シ、顆粒ハ間モナク紫色ニ染色シ長時間脱色シ難シ。

七、赤血球

操作數分ノ後帶赤紫色ノ網織狀物質及ビ顆粒狀物質ヲ認ム、血球ノ崩壞後モ樹枝狀或ハ顆粒狀ニ殘存スルモノヲ見ル。八、變性多核白血球 著記スベキ所見無シ。

以上ノ所見ヲ總括シテ表示スレバ次ノ如シ(第一表)

第一表

細胞別	十分後	卅分後	一乃至三時間後
1. 假性(おじん嗜好性)白血球	顆粒 → 淡(赤)紫	→ 赤(紫)	→ 赤(紫)
	核 → 一部不染	→ 淡紫	→ 紫
	備考 → 細胞運動ハ比較的微弱ニシテ、最長持續時間卅分		
2. 鹽基嗜好性白血球	顆粒 → 不染	→ 淡赤莖	→ (莖)赤
	核 → 不染	→ 淡紫	→ 淡紫
	備考 → 細胞運動ハ比較的微弱ナリ		
3. おじん嗜好性白血球	顆粒 → 淡赤紫	→ (紫)緋紅	→ (紫)緋紅
	核 → 不染	→ 淡紫	→ 淡紫
	備考 → 細胞運動ハ比較的微弱ナリ		
4. 淋巴細胞	顆粒 → 不染	→ (赤)莖	→ (莖)赤
	核 → 淡莖	→ 淡莖赤	→ 莖赤
	備考 → 細胞運動ハ二千五百倍溶液ニ於テ微弱ナルヲ認ム		
5. 大單核球	顆粒 → 不染	→ 不染	→ 不染
	核 → 淡淡	→ 淡紫莖	→ 淡紫莖
	備考 → 細胞運動ハ二千五百倍溶液ニ於テ微弱ナルヲ認ム		
6. 血小板	顆粒 → 淡紫	→ 紫	
7. 赤血球	網織狀物質 → (赤)紫	→ (赤)紫	
8. 變性多核白血球	著見無シ		

總括

、染色顆粒ハ之ヲ次ノ三種ニ別ツ

- A、固有顆粒 顆粒性白血球ノ顆粒ハ初メ帶赤紫色ヲ次デ帶紫赤色ヲ呈ス。
- B、准固有顆粒 淋巴細胞ノ顆粒ハ初メ帶赤莖色ヲ、次デ帶莖赤色ヲ呈シ、大單核球ノ顆粒ハ染色ヲ呈シ難シ。
- C、不染顆粒 假性(おじん嗜好性)白血球ニ於テ全然染色ヲ呈セザル少數顆粒ヲ見ル。

二、顆粒性白血球ノ核ハ其死戰期ニ染色ヲ呈シ死後一層著明トナル、而テ無顆粒性白血球ノ核ハ死後染色ヲ呈スルコト多シ。

三、赤血球ニ於テ赤紫色ノ網織狀物質ヲ認ム。

四、本種色素ハ若干めたくろまじーヲ呈ス。

第二節 あくりぢん赤

八〇%あるこほーるノ五百倍溶液(溶液色……滯莖緋紅)

一、假性えおじん嗜好性白血球

本種細胞ノ顆粒ハ細胞運動ノ將ニ休止セントスル時(操作三〇分乃至一時間後)淡褐黃色ヲ呈シ死後一層著明トナル(附圖四五)。核ハ操作數分ノ後滯紫紅色或ハ赤褐色或ハ黃褐色ニ生體染色ヲ呈シ、細胞ノ死後一層深染シテ著明トナル、其際核染質著明ナルコト多シ。之等染色顆粒並ニ核ハ細胞ノ崩壞期マデ脱色セザルヲ常トス。細胞運動ハ比較的活潑ナルモ持續時間ハ概シテ短カシ(最長一時間)。

二、鹽基嗜好性白血球

操作數十分ノ後細胞運動ノ將ニ休止セントスル頃顆粒ハ黃褐色ニ染色シ、細胞ノ死後暗黃褐色ヲ呈ス(附圖四六)。核ハ操作數分後滯紫紅色ヲ呈シ、細胞ノ死後赤褐色或ハ黃褐色ニめたくろまじーヲ呈ス、其際核染質稍々著明ナルコト多シ。之等染色顆粒並ニ核ハ細胞ノ崩壞期迄脱色セザルコト多シ。細胞運動ハ稍々活潑ナルモ持續時間短カシ。

三、えおじん嗜好性白血球

操作數十分後細胞運動ノ將ニ休止セントスル頃顆粒ハ淡黃褐色ヲ呈シ(附圖四七)死後一層著明トナル。核ハ操作數分ノ後淡紫紅色ヲ呈シ、細胞運動休止ノ後赤褐色或ハ黃褐色ニめたくろまじーヲ呈スルモ其色調ハ前二者ニ比シ稍々淡シ。之等染色サレタル顆粒並ニ核ハ何レモ細胞ノ崩壞期マデ脱色セザルコト多シ。細胞運動ハ比較的活潑ナルモ其

持續時間概シテ短カシ。

四、淋巴細胞

顆粒ハ黃赤色ニ、核ハ帶紫紅色ニ死後染色ヲ呈ス(附圖四八)、共ニ細胞ノ崩壞期マデ脱色セザルコト多シ。細胞運動ハ二千五百倍溶液ニ於テ微弱ナルヲ認ム。

五、大單核球

操作後間モナク多クハ原形質全體瀰蔓性ニ淡黃赤色ヲ呈スルモ、染色顆粒ハ認メ難シ。核ハ帶紫赤色ニ死後染色ヲ呈シ細胞ノ崩壞期マデ脱色セザルコト多シ。細胞運動ハ二千五百倍溶液ニ於テ微弱ナルヲ認ム。

六、血小板

操作數分ノ後顆粒ハ帶褐紅色ヲ呈ス。

七、赤血球

操作數分後黃褐色ノ網織狀物質ヲ見ル、血球ノ崩壞後モ樹枝狀或ハ顆粒狀ニ殘存スルコト多シ。

八、變性多核白血球

顆粒ハ淡黃色ニ、核ハ淡紫紅色ニ染色ヲ呈スルモ、數十分ノ後脱色ス。

以上ノ所見ヲ總括シテ表示スレバ次ノ如シ(第二表)。

總括

一、染色顆粒ヲ次ノ二種ニ別ツ、

A、固有顆粒 細胞ノ死戰期ニ於テ帶黃褐色ヲ呈セル顆粒性白血球ノ顆粒之ナリ。

B、准固有顆粒 淋巴細胞ノ顆粒ハ帶黃褐色ヲ呈スルモ大單核球ノ顆粒ハ染色ヲ呈シ難シ。

二、顆粒性白血球ハ生體核染色ヲ呈シ、無顆粒性白血球ハ死後核染色ヲ呈ス。
 三、赤血球ニ於テ黃褐色ノ網織狀物質ヲ認ム。

第二表

細胞別	十分後	卅分後	一乃至三時間後
1. 假性(おじん)嗜好性白血球	顆粒 → 不染 核 → (紫) 紅赤 備考 → 細胞運動ハ比較的最長一時間ナリ	不染 → 淡(紫)紅 染 → 黃(紫)紅 褐 → 赤褐	淡褐 → 黃褐 一層深染 一層深染 持續時間短ク
2. 鹽基嗜好性白血球	顆粒 → 不染 核 → (紫) 紅 備考 → 細胞運動ハ比較的最長一時間ナリ	不染 → 黃 染 → 赤褐 褐 → 赤褐	暗黃褐 稍深染 稍深染 持續時間短シ
3. (おじん)嗜好性白血球	顆粒 → 不染 核 → 淡紫紅 備考 → 細胞運動ハ比較的最長一時間ナリ	不染 → 淡黃 染 → 赤黃 褐 → 赤褐	黃褐 稍深染 稍深染 持續時間短シ
4. 淋巴細胞	顆粒 → 淡黃赤 核 → (紫) 紅 備考 → 細胞運動ハ二千五百倍溶液ニ於テ微弱ナルヲ認ム	不染 → 黃 染 → (紫) 紅 褐 → 赤	稍深染 稍深染
5. 大單核球	顆粒 → 不染 核 → (紫) 赤 備考 → 細胞運動ハ二千五百倍溶液ニ於テ微弱ナルヲ認ム	不染 → (紫) 赤 染 → 不 褐 → 不	不染 稍深染 不
6. 血小板	顆粒 → (褐) 紅	(褐) 紅	(褐) 紅
7. 赤血球	網織狀物質 → 黃	黃 褐	黃 褐
8. 變性多核白血球	顆粒 → 淡黃 核 → 淡紫紅	淡黃 → 脫色 淡紫紅 → 脫色	脫色

第三節 ろだみん

八〇%あるこほーるノ五百倍溶液(溶液色……帶堇緋赤)

一、假性(おじん)嗜好性白血球

原著 野手||諸種色素ニ依ル血液細胞ノ生體染色並ニ超生體染色ニ就テ(第六報)

操作後間モナク顆粒ノ大半ハ初メ淡紫色ニ染色シ(附圖四九)、時間ヲ經ルニ從ヒ漸次赤色味ヲ増シ帶赤紫色ヲ呈ス、該染色顆粒ハ細胞ノ崩壞期マデ脱色セザルコト多シ、而テ少數顆粒ハ終始染色セザルモノアリ。核ハ染色ヲ呈セズ。細胞運動ハ比較的活潑ナルヲ認ム。

二、鹽基嗜好性白血球

操作數十分ノ後顆粒ハ淡紫色ヲ呈シ、次デ赤色味ヲ増シ帶赤紫色トナル、該染色顆粒ハ細胞ノ崩壞期マデ脱色セザルコト多シ。核ハ染色ヲ呈セズ。細胞運動ハ比較的活潑ナルヲ認ム。

三、えおじん嗜好性白血球

操作後間モナク顆粒ハ淡紫色ヲ呈シ、次デ赤色味ヲ増シ帶赤紫色トナル(附圖五〇)、該染色顆粒ハ細胞ノ崩壞期マデ脱色セザルコト多シ。核ハ染色ヲ呈セズ。細胞運動ハ概シテ活潑ナリ。

四、淋巴細胞

操作數分乃至十數分ノ後、顆粒ハ淡紫色ニ染色シ一定時ノ後帶赤紫色ヲ呈ス。核ハ染色セザルコト多キモ、稀ニ淡紫色ニ死後染色ヲ呈スルモノアリ、共ニ細胞ノ崩壞期マデ脱色セザルコト多シ。細胞運動ハ一千倍溶液ニ於テ微弱ナルヲ認ム。

五、大單核球

顆粒ハ染色ヲ呈シ難ク、核モ染色ヲ呈セザルコト多ク、稀ニ淡紫色ニ死後染色ヲ呈スルモノアリ。細胞運動ハ一千倍溶液ニ於テ微弱ナルヲ認ム。

六、血小板

操作數分後原形質全體ニ淡紫色ヲ呈シ顆粒ハ若干深染ス。

七、赤血球

操作數分後稀ニ淡紫色ノ網織狀物質ヲ認ム。

八、變性多核白血球

著記スベキ所見無シ。

以上ノ所見ヲ總括シテ表示スレバ次ノ如シ(第三表)。

第三表

細胞別	十分後	卅分後	一乃至三時間後
1. 假性(ねおじん)嗜好性白血球	顆粒 → 淡紫	→ (赤)紫	→ (赤)紫
	核 → 不染		
	備考 → 細胞運動ハ比較的活潑ナルヲ認ム		
2. 鹽基嗜好性白血球	顆粒 → 不染	→ 淡紫	→ (赤)紫
	核 → 不染		
	備考 → 細胞運動ハ比較的活潑ナルヲ認ム		
3. (ねおじん)嗜好性白血球	顆粒 → 淡紫	→ (赤)紫	→ (赤)紫
	核 → 不染		
	備考 → 細胞運動ハ比較的活潑ナルヲ認ム		
4. 淋巴細胞	顆粒 → 淡紫	→ (赤)紫	→ (赤)紫
	核 → 不染	↘ 不染 稀 = 淡紫	
	備考 → 細胞運動ハ一千倍溶液ニ於テ微弱ナルヲ認ム		
5. 大單核球	顆粒 → 不染		
	核 → 不染	↘ 不染 稀 = 淡紫	
	備考 → 細胞運動ハ一千倍溶液ニ於テ微弱ナルヲ認ム		
6. 血小板	顆粒 → 不染	→ 淡紫	
7. 赤血球	網織狀物質 → 淡紫		
8. 變性多核白血球	著見ナシ		

總括

原著

野手ニ諸種色素ニ依ル血液細胞ノ生體染色並ニ超生體染色ニ就テ(第六報)

一、染色顆粒ハ次ノ三種ニ別ツ。

A、固有顆粒 顆粒性白血球ニ於テ初メ淡紫色ヲ、一定時ノ後帶赤紫色ヲ呈スルモノ之ナリ、而テ鹽基嗜好性白血球ノ顆粒ハ染色ヲ呈スル迄ニ最モ長時間ヲ要ス。

B、准固有顆粒 淋巴細胞ノ顆粒ハ初メ紫色ヲ、次デ帶赤紫色ヲ呈スルモ、大單核球ノ顆粒ハ染色シ難シ。

C、不染顆粒 假性えおじん嗜好性白血球ニ於テ、終始染色ヲ呈セザル顆粒ヲ云フ。

二、顆粒性白血球ノ核ハ一般ニ染色ヲ呈セザルモ、無顆粒性白血球ノ核ハ紫赤色ニ死後染色ヲ呈スルモノアリ。

三、赤血球ニ於テ淡紫色ノ網織狀物質ヲ認ム。

四、本種色素ハ稍々著明ナルめたくろまじーヲ呈ス。

第四節 ろだみんS

八〇%あるこほーるノ五百倍溶液(溶液色……帶莖緋紅)

本種色素ニ依ル染色々調並ニ所見ハ前者ト殆ド大差ナキヲ以テ左ニ其異リタル主ナル點ノ二三ヲ簡單ニ記述スベシ。

一、本種色素ハ操作ヨリ染色ニ至ルマデニ比較的長時間ヲ要ス、即チ五百倍溶液ニ於テ一乃至二時間ヲ要ス。

二、顆粒性白血球ノ顆粒ハ淡紫色ヲ呈シ、無顆粒性白血球ノ顆粒ハ染色ヲ呈シ難シ。

三、顆粒性白血球ノ核ハ淡紫紅色ニ生體染色ヲ呈シ、無顆粒性白血球ノ核ハ淡紫紅色ニ死後染色ヲ呈スルヲ常トス。

四、赤血球ニ於テ網織狀物質ヲ認メ難シ。

第四章 本編ノ總括

各種色素ニ對スル總括的所見ハ既ニ各條下ニ於テ之ヲ述ベタリ。今之等ヲ通覽シテ更ニ其概括的所見ヲ述ブル所アラントス。

一、顆粒性白血球中假性えおじん嗜好性白血球及ビえおじん嗜好性白血球ノ顆粒ハ染色操作數分ノ後染色ヲ呈スルニモ係ラズ、獨リ鹽基嗜好性白血球ノ顆粒ハ操作後染色ヲ呈スルマデニ、早キハ二〇乃至三〇分遅キハ一時間餘ヲ要スルハ注意スベキ點ナリトス。

二、淋巴細胞ノ顆粒ハろだみんSニ依リテノミ染色ヲ呈セザレドモ、大單核球ノ顆粒ハ何レノ色素ニ依リテモ染色ヲ呈セザルハ興味アリト思考ス。

三、顆粒性白血球ハあくりぢん赤及びろだみんSニ依リ其生活時ニ、いりざみんGニ依リ其死戰期ニ核染色ヲ呈ス

四、無顆粒性白血球ハ本種各色素ニ依リ死後核染色ヲ呈ス、而テ其色調ハ淋巴細胞ノ方概シテ濃厚ナリ。

五、赤血球ニ於テろだみんS以外ノ各種色素ニ依リ常ニ網織狀物質ヲ認ム。

六、本種屬色素ハ概シテ稍々著明ナルめたくろまじーヲ呈ス。

第二附圖說明

ぶりあんとくれじーる青(操作一〇分後ノ所見)

一、假性えおじん嗜好性白血球 帶葦青色ノ顆粒ヲ示ス。

二、鹽基嗜好性白血球 帶紫堇色ノ顆粒ヲ示ス。

三、えおじん嗜好性白血球 葦色顆粒ヲ示ス。

四、淋巴細胞 帶青堇色ノ顆粒ヲ示ス。

五、大單核球 帶紫堇色ノ顆粒ヲ示ス。

六、赤血球 網織狀物質ヲ示ス。

七、同右 顆粒狀物質ヲ示ス。

なふとーる青R(操作一〇分後ノ所見)

八、鹽基嗜好性白血球(二千五百倍溶液) 帶紫堇色ノ顆粒ヲ示ス。

九、えおじん嗜好性白血球(五千倍溶液) 青色顆粒ヲ示ス。

一〇、えおじん嗜好性白血球(一千倍溶液) 葦色顆粒ヲ示ス。
一一、淋巴細胞(二千倍溶液) 核染色並ニ帶葦青色ノ顆粒ヲ示ス。
一二、大單核球(一千倍溶液) 顆粒ハ微細ニシテ、帶紫堇色ヲ呈ス。
とるいぢん青(操作一〇分後ノ所見)

一三、假性えおじん嗜好性白血球 帶紫堇色ノ顆粒並ニ生體核染色ヲ示ス。

一四、鹽基嗜好性白血球 帶紫堇色ノ顆粒並ニ生體核染色ヲ示ス。

一五、えおじん嗜好性白血球 帶紫堇色ノ顆粒並ニ生體核染色ヲ示ス。

一六、淋巴細胞 帶紫堇色ノ顆粒並ニ核染色ヲ示ス。

一七、同右 核ハ帶青堇色ヲ呈セルヲ示ス。

一八、大單核球 核淡染色並ニ帶紫堇色ノ顆粒ヲ示ス。

あめちゆうすと望(操作一時間後ノ所見)

一九、假性のおじん嗜好性白血球 帶莖綠色ノ顆粒並ニ淡紫色ノ核染色ヲ示ス。

二〇、鹽基嗜好性白血球 帶莖紫色ノ顆粒ヲ示ス。

二一、おじん嗜好性白血球 帶莖綠色ノ顆粒ヲ示ス。

二二、淋巴細胞 顆粒並ニ核ハ帶莖紫色ヲ呈ス。

二三、大單核球 顆粒ハ帶莖紫色ヲ呈ス。

いんごあちん

二四、假性のおじん嗜好性白血球(操作一〇分後) 顆粒ハ帶莖綠色ヲ呈ス。

二五、鹽基嗜好性白血球(操作三〇分後) 顆粒ハ帶莖紫色ヲ呈ス。

二六、おじん嗜好性白血球(操作一〇分後) 顆粒ハ帶莖綠色ヲ呈ス。

二七、淋巴細胞(操作三〇分後) 帶莖綠色ノ顆粒並ニ淡綠色ノ核染色ヲ示ス。

二八、大單核球(同右) 辛ウシテ染色ヲ呈セル淡綠色ノ微細ナル顆粒ヲ示ス。

いんごあみん青(操作三〇分後ノ所見)

二九、假性のおじん嗜好性白血球 青莖色ノ顆粒ト淡莖色ノ核染色トヲ示ス。

三〇、鹽基嗜好性白血球 莖色顆粒並ニ核染色ヲ示ス。

三一、おじん嗜好性白血球 帶莖綠色ノ顆粒ヲ示ス。

三二、淋巴細胞 莖紫色ノ顆粒ト核染色トヲ示ス。

三三、大單核球 淡紫色ノ顆粒ト核染色トヲ示ス。

いんごあみん青(操作三時間後ノ所見)

三四、假性のおじん嗜好性白血球 帶赤紫色ノ顆粒ト淡紫色ノ核染色トヲ示ス。

三五、鹽基嗜好性白血球 帶赤紫色ノ顆粒ト、淡莖色ノ核染色トヲ示ス。

三六、おじん嗜好性白血球 帶莖紫色ノ顆粒ヲ示ス。

鹽酸にーる青(第一附圖ニ記載セシモノハ頗ル不出來ナルヲ以テ此處ニ訂正ス)

三七、假性のおじん嗜好性白血球 帶莖紫色ノ顆粒ヲ示ス。(操作一〇分後)

三八、同右 暗莖紫色ノ針狀結晶様物ヲ示ス。

三九、大單核球 莖紫色ヲ呈セル顆粒並ニ針狀結晶様物質ヲ示ス。(操作一〇分後)

いりざみんG

四〇、假性のおじん嗜好性白血球(操作三〇分後) 顆粒ハ淡赤紫色、核ハ淡紫色ヲ呈ス。

四一、鹽基嗜好性白血球(操作二時間後) 顆粒ハ帶莖赤色、核ハ淡紫色ヲ呈ス。

四二、おじん嗜好性白血球(操作三〇分後) 顆粒ハ帶赤紫色、核ハ淡紫色ヲ呈ス。

四三、同右(操作二時間後) 顆粒ハ帶紫緋紅色、核ハ淡紫紅色ヲ呈ス。

四四、淋巴細胞(操作三〇分後) 顆粒ハ帶赤莖色、核ハ淡莖赤色ヲ呈ス。

あくりちん赤(操作一時間後ノ所見)

四五、假性のおじん嗜好性白血球 顆粒ハ淡褐黄色ヲ核ハ紫紅色ヲ呈

ス。

四六、鹽基嗜好性白血球 顆粒ハ暗黃褐色ヲ、核ハ紫紅色ヲ呈ス。

四七、いおじん嗜好性白血球 顆粒ハ淡黃褐色ヲ、核ハ淡紫紅色ヲ呈ス。

ス。

四八、淋巴細胞 顆粒ハ黃赤色、核ハ紫紅色ヲ呈ス。

ろだみん

四九、假性いおじん嗜好性白血球(操作一〇分後) 顆粒ハ淡紫色ヲ呈ス

ルモ核ハ染色ヲ示サズ。

五〇、いおじん嗜好性白血球(操作三〇分後) 顆粒ハ帶赤紫色ヲ呈ス

ドモ核ハ染色ヲ示サズ。

びすまるく褐(操作三〇分後ノ所見)

五一、鹽基嗜好性白血球 顆粒ハ暗褐色ヲ呈ス。

五二、いおじん嗜好性白血球 顆粒ハ黃綠色ヲ呈ス。

五三、淋巴細胞 顆粒ハ黃褐色ヲ呈ス。

五四、大單核球 顆粒ハ褐色ヲ呈ス。

びろにん

五五、假性いおじん嗜好性白血球(操作一〇分後) 顆粒ハ染色ヲ呈セ

ズ、核ハ紫紅色ニ生體時染色ヲ呈ス。

五六、鹽基嗜好性白血球(操作二時間後) 顆粒ハ黃赤色ヲ、核ハ紫紅色

ヲ呈ス。

五七、淋巴細胞(操作三〇分後) 核ハ紫紅色ヲ呈シ、原形質ハ球圓狀ニ

凝集シテ一見顆粒狀ヲ呈セルヲ示ス。

五八、赤血球(操作一〇分後) 黃褐色ノ環狀ヲ呈セル網織狀物質ヲ示

ス。

いんごいん青

五九、假性いおじん嗜好性白血球(操作一〇分後) 顆粒ハ帶莖青色ヲ呈

ス。

六〇、同右(操作二時間後) 暗青色ノ特殊顆粒ヲ示ス。

六一、いおじん嗜好性白血球(操作一〇分後) 顆粒ハ帶莖青色ヲ呈ス。

六二、淋巴細胞(操作三〇分後) 顆粒ハ帶莖青色ヲ、核ハ帶莖紫色ヲ呈

ス。

六三、大單核球(操作三〇分後) 顆粒ハ帶莖紫色ヲ呈シ、原形質ハ全體

彌蔓性ニ淡青色ヲ呈ス。

グえすうびん(操作三〇分後ノ所見)

六四、鹽基嗜好性白血球 顆粒ハ黃褐色ヲ呈ス。

六五、いおじん嗜好性白血球 顆粒ハ黃綠色ヲ呈ス。

くりそいちん(操作一五分後ノ所見)

六六、鹽基嗜好性白血球 顆粒ハ黃色ヲ呈ス。

六七、いおじん嗜好性白血球 顆粒ハ淡綠黃色ヲ呈ス。

文獻後出

野手論文附圖 (其ノ二)

